

Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース No.24
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1977, 24, p. 1-23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65334
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

昭和 5 2 年 度 利 用 者 講 習 会 計 画

開 催 日	講習会別	タイトル内容	備 考	担当者	参加資格者	募集範囲
4月 26日(火)	利用者講習会	ACOS-6概説	全利用者を対象にACOSシステム700のオペレーティングシステムを概説する。	藤 井 多 喜	大阪大学大型計算機センター利用者	全地区
〃 27日(水)	※ 〃	ACOS700の運用-JCLを中心として-	ACOSシステムのジョブ制御言語を中心に運用について解説する。	業務掛	〃	〃
5月 25日(水) 26日(木) 27日(金)	〃	ACOS-TSS解説 ・コマンド ・ファイルシステム ・EDITOR/ RUNOFF	プログラミング経験者を対象に、TSSの使い方を説明し、各サブシステムの使い方を概説する。実習も行う。	多 喜 後 藤	〃 〃	〃 〃
6月 21日(火)	※ 〃	1)ワークファイル 2)FORTRANプログラミング	FORTRAN 習熟者を対象にNEAC2200モデル700のワークファイルの使い方を解説する。 JIS7000FORTRANの知識のある人を対象にACOS-6FORTRANについて述べる。	磯 本 大 中	〃 〃	〃 〃
6月 28日(火)	〃	1)ドラフタ 2)U-200	自動製図装置の概要使用例を述べる。 入出力媒体変換用U-200の具体的使用法を説明する。	川 井 〃	〃 〃	〃 〃
7月 5日(火)	〃	データ・ベース説明	ACOS-6のデータ・ベース(IDS, INQ)について説明	磯 本	〃	〃
9月 28日(水)	〃	1)ACOS- 数値計算ライブラリ概説 2)アプリケーション概説	FORTRAN 経験者を対象にACOS-6 ライブラリ(MATH LIB-6)について述べる。 ACOS-6 の各アプリケーションパッケージの概要と使用法を解説する。	大 中 多 喜	〃 〃	〃 〃

※ プログラム相談員・指導員はできるだけ出席して頂きたい。

第37回全国共同利用大型計算機センター 運用会議議事要旨

日 時： 昭和51年10月8日(金)

場 所： 御 車 会 館(文部省共済組合京都宿泊所)

議 事：

I 報 告 事 項

- (1) 各センターの現況について
- (2) 各研究会(計算機言語, プログラムライブラリー, コンピュータ・ネットワーク)について
- (3) 負担金検討小委員会について
- (4) 大型計算機センターの長期計画に関する要望書の提出について

II 審 議 事 項

- (1) コンピュータ・ネットワークの全体計画について
(大阪大学提出)

高木センター長より提案趣旨説明があり, 種々意見交換ののち今後の進め方について討論の結果, コンピュータ・ネットワーク研究会の方で, 当日の討議内容を整理し, 引きつづき同研究会で検討すべき問題点と他の会議等で検討すべき問題点とに分類することになった。

- (2) 負担金の改訂案について
大阪大学, 京都大学からそれぞれ改訂案について説明があり, 原案通り了承された。
- (3) 全国運用会議等会議体系のあり方について
京都大学作成の試案をもとに種々意見交換が行われた結果, 今後の進め方として, 高木(阪大), 清野(京大), 成岡(名大)の3センター長により当日の意見をまとめた上, 試案を作成して各センターに送付し, 検討願うこととなった。

III そ の 他

- (1) 名古屋大学成岡センター長より, 大型計算機センターで学術情報サービスを開始することについての話題提供があった。
- (2) 東京大学小野教授より, 学術研究の目的でつくられた民間の出資機関からの利用申請の取扱いについて照会があり, 京都大学では, すでに条件付で受入れている旨の回答があった。また, 北海道大学でも, 民間の研究奨励金等による利用を条件付で認めている旨報告があった。

昭和51年度計算機稼動状況

システム	NEAC 2200 モデル 700(システム1) 記憶容量 1024 KCH(単位, 時間)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平均	
サービス	178:32	193:20	231:25	237:54	206:44	226:42	203:21	228:51	248:57	1955:46	217:18	
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	
準備	1:40	4:12	1:53	3:20	2:07	2:10	1:29	2:16	2:15	21:22	2:22	
アキ	10:49	7:46	9:09	8:24	10:33	7:44	9:42	6:02	5:22	75:31	8:23	
業務	20:13	16:23	17:16	10:52	25:41	15:19	8:45	4:33	21:06	140:08	15:34	
小計	211:14	221:41	259:43	260:30	245:05	251:55	223:17	241:42	277:40	2192:47	243:38	
保守	25:55	19:30	26:25	26:00	23:30	23:55	23:05	23:53	22:30	214:43	23:51	
故障	2:05	0:25	0:00	0:00	0:48	0:00	0:00	3:55	0:00	7:13	0:48	
稼働時間	239:14	241:36	286:08	286:30	269:23	275:50	246:22	269:30	300:10	2414:43	268:18	
(A+B+C) 稼働率	88.2	91.7	90.7	90.9	90.9	91.3	90.6	89.6	92.5	90.8	90.8	
(A/(A+B+C))% 稼働日数	26	24	26	27	26	24	25	24	22	224	24	
(D) 一日平均	8:07	9:14	9:59	9:38	9:25	10:29	8:55	10:04	12:37	9:47	10:09	

システム ACOS 77 モデル 700 (システム2) 記憶容量 1024 KB (単位, 時間)

月	10	11	12	合計	平均
サービス	131:36	129:25	109:28	370:29	123:29
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備	2:43	3:02	2:47	8:32	2:50
アキ	14:26	12:37	12:25	39:28	13:09
業務	15:48	13:43	17:37	47:08	15:42
小計 (A)	164:33	158:47	142:17	465:37	155:12
保守	15:50	17:00	12:30	45:20	15:06
故障	0:00	0:00	5:30	5:30	1:50
運転 (A+B+C)	180:23	175:47	160:17	516:27	172:09
稼働率 (A/(A+B+C))%	91.2	90.3	88.7	90.1	90.1
運転日数 (D)	25	24	22	71	23
一日平均 (A/D)	6:34	6:39	6:28	6:33	6:44

システム	NEAC 2200 モデル700(システム3)							記憶容量 1024 KCH (単位、時間)				平均
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計		
サービス	195:21	198:20	247:59	244:43	217:28	253:13	223:19	230:38	259:39	2070:40	230:04	
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	
準備	1:43	3:19	1:57	2:41	1:46	2:44	1:45	1:39	2:55	20:29	2:16	
アキ	5:27	6:55	9:01	9:45	8:48	9:12	8:54	7:13	6:49	72:04	8:00	
業務	16:48	5:28	5:15	10:05	7:18	9:00	6:53	3:30	6:48	71:05	7:53	
小計	219:19	214:02	264:12	267:14	235:20	274:09	240:51	243:00	276:11	2234:18	248:15	
保守	30:25	24:25	24:35	28:48	29:00	19:45	23:28	30:48	21:17	232:31	25:50	
故障	0:00	7:23	0:25	3:42	0:00	4:55	0:00	19:15	4:39	40:19	4:28	
運転時間 (A+B+C)	249:44	245:50	289:12	299:44	264:20	298:49	264:19	293:03	302:07	2507:08	278:34	
稼働率 (A/(A+B+C))%	87.8	87.0	91.3	89.1	89.0	91.7	91.1	82.9	91.4	89.1	89.1	
運転日数 (D)	26	24	26	27	25	25	25	25	22	225	25	
一日平均 (A/D)	8:26	8:55	10:09	9:53	9:24	10:57	9:38	9:43	12:33	9:55	9:55	

NEAC 2200 モデル 500 (システム4) 記憶容量 524 KCK

システム

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平均
サービス	136:34	125:01	141:59	140:25	133:00	127:08	126:04	127:43	117:04	1174:58	130:33
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	2:35	2:35	0:17
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備	2:10	2:04	2:12	2:29	2:32	1:49	3:11	4:14	2:29	23:10	2:34
アキ	11:00	13:03	15:19	14:05	15:06	11:19	6:31	5:53	10:02	102:18	11:22
業務	23:08	21:44	12:48	14:38	24:39	16:02	32:25	26:31	18:46	190:41	21:11
小計 (A)	172:52	161:52	172:18	171:37	175:17	156:18	168:11	164:21	150:56	1493:42	165:58
保守 (B)	19:25	17:30	15:45	21:00	17:20	19:55	9:30	12:58	18:45	152:08	16:54
故障 (C)	0:00	1:00	0:00	0:00	0:00	0:50	0:00	0:00	0:00	1:50	0:12
運転時間 (A+B+C)	192:17	180:22	188:03	192:37	192:37	177:03	177:41	177:19	169:41	1647:40	183:04
稼働率 (A/(A+B+C))%	89.9	89.7	91.6	89.0	91.0	88.2	94.6	92.6	88.9	90.6	90.6
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	25	24	23	225	25
一日平均 (A/D)	6:38	6:44	6:37	6:21	6:44	6:30	6:43	6:50	6:33	6:38	6:38

※※※※※※※※※※ バッチ利用状況(システム1) ※※※※※※※※※※※

(51年12月)

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードパンチ
利用者(オープンジョブ)	818 (92.95)	0 (0.00)	0	0	0	0
(Aジョブ)		734 (24.30)	50,374	20,926	0	454,054
(Bジョブ)		1,977 (65.46)	455,672	95,116	63,978	2,164,511
(Cジョブ)		16 (0.52)	11,578	1,290	20	16,587
指導員	12 (1.36)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.34)	0 (0.00)	0	0	0	0
講習会	14 (1.59)	0 (0.00)	0	0	0	0
研究開発	6 (0.68)	0 (0.00)	0	0	0	0
業務	27 (3.06)	293 (9.70)	7,906	3,685	148	15,705
合計	880	3,020	525,530	121,017	64,146	2,650,857

※※※※※※※※※※ バッチ利用状況(システム2) ※※※※※※※※※※※

(51年10月)

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
暫定バッチジョブ	807 (92.86)	18 (2.53)	67	42	0	3,406
指導員	12 (1.38)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.34)	0 (0.00)	0	0	0	0
講習会	14 (1.61)	0 (0.00)	0	0	0	0
研究開発	6 (0.69)	37 (5.21)	491	755	0	10,266
業務	27 (3.10)	654 (92.24)	10,605	5,041	0	78,895
合計	869	709	11,163	5,838	0	92,567

※※※※※※※※※※※※※※ バッチ利用状況(システム2) ※※※※※※※※※※※※※※

(51年11月)

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
暫定バッチジョブ	807 (92.86)	170 (18.02)	58,728	3,853	0	142,592
指導員	12 (1.38)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.34)	47 (4.98)	60	100	0	4,435
講習会	14 (1.61)	0 (0.00)	0	0	0	0
研究開発	6 (0.69)	72 (7.63)	502	595	0	16,560
業務	27 (3.10)	654 (69.35)	8,689	3,719	0	79,688
合計	869	943	67,979	8,267	0	243,275

※※※※※※※※※※※※※※ バッチ利用状況(システム2) ※※※※※※※※※※※※※※

(51年12月)

ジョブ区分別	課題件数	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
暫定バッチジョブ	818 (92.95)	190 (21.04)	1,354	2,408	0	128,457
指導員	12 (1.36)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.34)	7 (0.77)	735	90	0	4,665
講習会	14 (1.59)	0 (0.00)	0	0	0	0
研究開発	6 (0.68)	94 (10.40)	1,266	1,012	0	23,424
業務	27 (3.06)	612 (67.77)	9,356	5,296	1	114,921
合計	880	903	12,711	8,806	1	271,467

「速報」及び「お知らせ」の集録

<速報№39>

ACOSシステム700によるTSSの利用について(その2)

1. N6020 ミニプリンターのPTR, PTPの使用について

このたび、紙テープ・リーダー及び紙テープ・パンチの使用が可能になりましたのでお知らせします。

なお、次の通り使用時の制限事項及び使用法に関する注意事項がありますのでご留意願います。

1) PTPに関して

- PTONコマンドでは必ずPTPを指定すること。
- PTONコマンド入力後、例えばLISTコマンドを入力した後、PTPをONにして¥¥¥EOFとストップコードをパンチしOFFにする。

※PTON PPT

※LIST

← PTPをONにする

```
0010COMENT
0020COMENT Y. HAKUTANI.
0030 WRITE(6,100)
0040 100FORMAT(1H,10X,13HFORTRAN TEST,/ ,15X,3HEOP)
0050 STOP
0060 END
```

¥¥¥EOF

← PTPをOFFにする
READY

※PTOFF

2) PTRに関して

- READコマンドでは必ずPPTを指定すること。
- NEAC・TYPER(N6020)の場合READコマンド入力後、READYメッセージが出力された後にPTRをスタートさせ、¥¥¥EOFを検出してPTRがストップし、受信ランプ点燈時にOFFにする。
- ミニプリンターの場合\$\$\$EOFを検出しても、PTRはストップせずに最後まで読み

※ERR※あるいは◇◇などが出力されてビルドモードに戻ります。これは端末のハードの問題であり、将来解決します。

※N6020での使用例

READY

※READ PPT

← PTRをスタート

0010COMENT

0020COMENT Y. HAKUTANI.

0030 WRITE(6,100)

0040 100 FORMAT(1H,10X,13HF ORTRAN TEST,/,15X,3HEOP)

0050 STOP

0060 END

¥¥¥EOF

※ ← PTRをOFF

※ミニプリンターでの使用例

※READ PPT

READY

← PTRをON

0010COMENT

0020COMENT Y. HAKUTANI.

0030 WRITE(6,100)

0040 100 FORMAT(1H,10X,13HF ORTRAN TEST,/,15X,3HEOP)

0050 STOP

0060 END

\$\$\$\$EOF

◇◇◇◇|◇H4\$ ◇◇◇◇◇◇◇◇ ← ハードの問題でこのようになります。

← PTRをOFF

3) PTP/Rに関して不明な点があれば内線2823中島、西まで連絡して下さい。

なお、ACOSタイム・シェアリング講習会資料のP83～86にもPTP/Rに関する資料が掲載されています。

2. CINPUTの受付について

現在、一階ジョブ窓口において、受付けていますジョブの内

① 2200モデル500(TSSシステム)

CINPUT

② ACOSシステム700

CINPUT

のジョブを依頼される時、次の事項に注意して下さい。

(1) ①の場合

CINPUT 依頼カードを、カードテックの前に置き、モデル500の欄を、必ずチェックして下さい。

なお、依頼カードの受付番号欄には、使用する端末番号を記入して下さい。返却は、その番号の返却だなに返却します。

(2) ②の場合

CINPUT依頼カードを、カードデッキの前に置き、ACOSの欄を必ずチェックして下さい。CINPUT依頼カードのない場合は、ACOS暫定バッチジョブとして受け付けますので注意して下さい。

なお、依頼カードの受付番号欄には\$, SNUMB カードの下2桁を記入して下さい。返却は、その番号の返却だなに返却します。

<速報№40>

1. 昭和52年度利用申請書の取扱いについて

(1) 受付開始日

昭和52年2月16日

(2) 申請手続

所定の申請用紙に記入の上、所属の連絡所に提出してください。

(3) リモート・バッチ・システムの申請手続

リモート・バッチ・システムについては、現在、大阪教育大学、大阪電気通信大学及び徳島大学の3端局をもって運用されています。このシステムの利用を希望する利用者は、利用申請書とは別にリモートバッチ用の利用申請書を、当該大学の端局責任者の承諾を得て、本センター共同利用掛へ申請書を提出して下さい。

なお、リモート・バッチ利用申請書は各端局に常備してあります。

(4) 記入上の注意

例年、利用申請書の記載不備(コードの誤記入、記入もれ、印もれなど)がめだちます。申請書に不備があれば、利用申請の承認や課題登録が遅れます。このことはとりもなおさず利用者に直接影響を及ぼします。コード表は各連絡所に常備してありますので、誤りのないよう注意してください。

なお、申請用紙は、各地区協、連絡所及び本センタージョブ受付に常備してあります。

2. 昭和51年度利用報告書の提出について

利用者は、センターを利用した結果、又は経過の報告書を研究課題ごとに、その研究又は年度終了後に報告しなければなりません。提出期限は、昭和52年4月30日までとしますので必ず御提出くださるようお願いいたします。

なお、利用報告書の記事欄の記入に当っては次の事項に留意してください。

- (1) センターを一度でも利用した実績のある人は、その計算内容又は研究内容について概略でよいから、ていねいに記入してください。
 - (2) 利用実績のない人又は中止した場合、その理由を記入してください。
- ## 3. ファイル開設申請の受付について

(1) 利用者ファイル

52年3月1日から受け付けます。

所定の用紙に必要事項を記入のうえ、ジョブ受付まで申し込んでください。

特に継続申請の場合は、期限の切れる一週間前までに手続をしてください。

(2) ACOSファイル

現在運用等検討中ですので後日お知らせします。

4. 公衆網サービスの増強について

公衆網サービスのうち内線番号を3回線増設することになりましたのでお知らせします。

開始は2月7日よりとします。

(内線) 2863 2864 2865

なお、外線(3回線)についても、公社の承認がおり次第増設します。

<速報No.41>

デマンド・プリンティング方式の採用について

2月21日(月)より、タイプ・ライターによるデマンド・プリンティングの利用(1階返却棚付近)が可能となります。デマンド・プリンティングとは、ファイルに保存されているバッチ・ジョブの計算結果を利用者がセンターにきて随時計算結果を取り出す方式です。

当センターでは、ライン・プリンター2台とタイプ・ライター2台を設置してデマンド・プリンティングを行います。

ただし、待ち日数あるいは夜間運転等の状況により、デマンド可能なジョブ・クラスを指定(デマンド室に掲示)しますので御留意願います。

なお、当分の間デマンド可能なジョブはAジョブのみとします。

1. 利用方法

利用者は、返却棚に計算結果が返却されていないのを確認してから、デマンド出力を行ってください。（原則として夜間に処理されたジョブについては、従来どおり返却棚に返却されます。）

○ サービス開始にあたり

※※※※※ DEMAND PRINT SERVICE START ※※※※※

（2.メッセージ参照）がタイプ・ライターに出力されます。この後STARTキーを押すことにより、デマンド・プリンティングの利用が可能になります。

注）このメッセージは、サービス開始時のみ出力されます。

○ STARTキーを押すと

※※※※※ ENTER NUMBER (8), KADAI (4) ※※※※※

のメッセージが出力され、KBランプが点灯し、利用者のタイプ・インが可能となります。

注）プリント出力中であれば、STARTキーを押してもタイプ・インは不可能です。

○ 受付番号（8桁）と、（コンマ）と課題番号（下4桁）をタイプ・インすると、そのジョブのプリントを開始します。

受付番号	A 0 0 1 2 3 4 5	の時
課題番号	6 0 9 9 J J 0 9 8 7	
カラム1	9	14
正	A 0 0 1 2 3 4 5, 0 9 8 7 (^C R)	
誤	A 1 2 3 4 5, 9 8 7 (^C R) ----- ⇒ 注2)参照	
	A 0 0 1 2 3 4 5, 0 9 8 7 (^C R) ----- ⇒ 注3)参照	
	A 0 0 1 2 3 4 5, 6 0 9 9 (^C R) ----- ⇒ 注4)参照	
	A 0 0 1 2 3 4 5, 0 9 8 7 (カ _ナ) ----- ⇒ 注5)参照	
	A 0 0 1 2 3 4 5, 9 8 7 (^C R)	

注1) 2. メッセージ(2)以外のメッセージが出力された後はすべてウェイト状態になっているため、デマンド・プリントをする場合には必ずSTARTキーを押さなければなりません。

注2) 受付番号、及び課題番号は0（ゼロ）を省略することはできません。

注3) 受付番号と課題番号の間には、必ず、（コンマ）をタイプ・インしてください。

注4) 課題番号は必ず下4桁をタイプ・インしてください。

注5) メッセージの最後には必ず(^CR)をタイプ・インしてください。

(^CR はタイプ・インしても印字されません)

注6) (^CR 以外の印字されないキー（カナ、英数等）も1字として扱いますので注意してください。

注7) 不必要なキーには触れないでください。

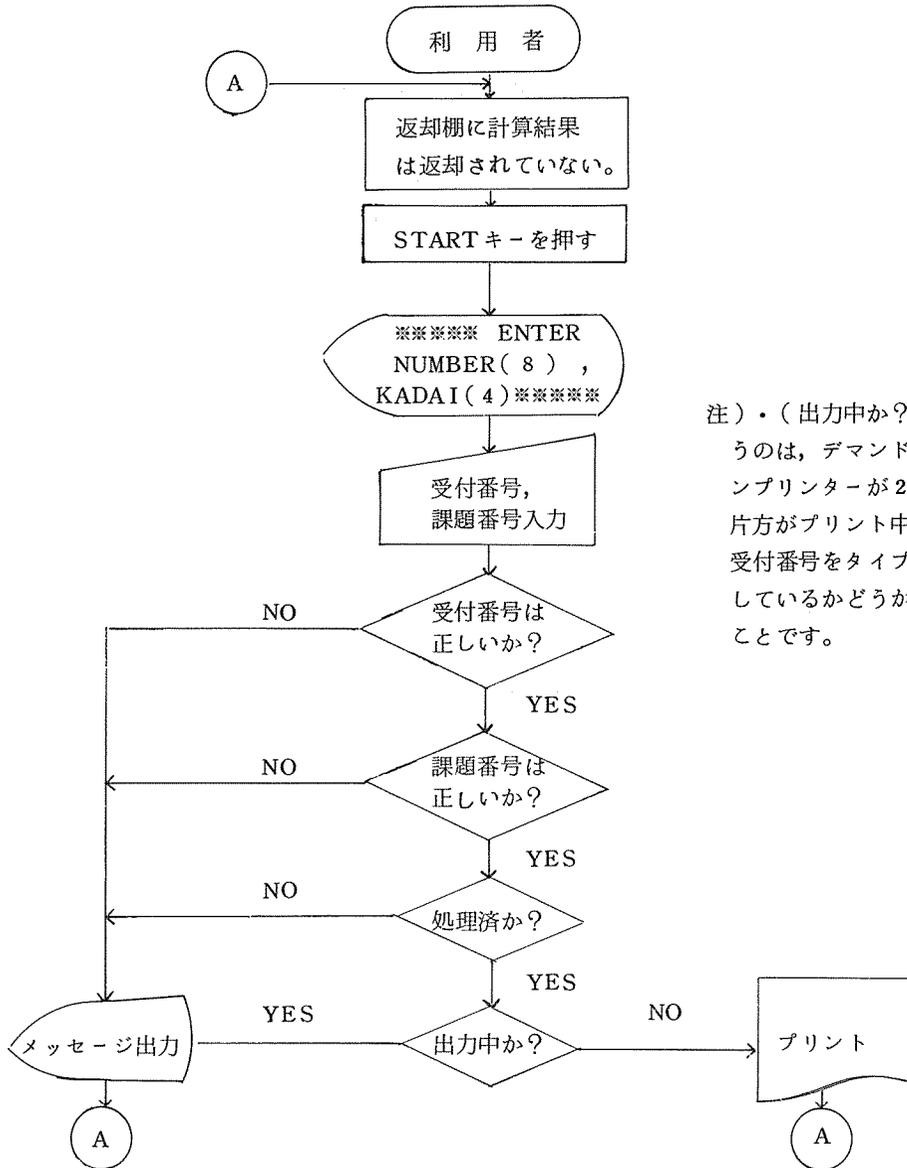
以上のことを図示すれば次頁のとおりです。

なお、サービス時間は次のとおりとします。

月～金曜日 10:00～16:00

土曜日 10:00～12:00

ただし、水曜日と木曜日にかぎり、保守中と掲示してあるタイプ・ライター（1台）については、午前中使用できません。



注)・(出力中か?)というの
は、デマンド用ライ
ンプリンターが2台あり、
片方がプリント中に同じ
受付番号をタイプ・イン
しているかどうかという
ことです。

2. メッセージ

- (1) ※※※※※ DEMAND PRINT SERVICE START ※※※※※
デマンド・プリント・サービスを開始します。
○システム・ダウン復旧後もこのメッセージは出力されます。
- (2) ※※※※※ ENTER NUMBER(8), KADAI(4) ※※※※※
受付番号を8桁で、課題番号を4桁でタイプ・インしなさい。
○このメッセージが出力後、KBランプが点燈します。
- (3) ※※※※※ JOB CLASS ERROR ※※※※※
ジョブ・クラス(第1桁)がA, B, C以外の文字である。
- (4) ※※※※※ NUMBER IS NOT 8 CHARACTER ※※※※※
受付番号が8桁ではない。(第9桁がコンマではない。)
- (5) ※※※※※ KADAI IS NOT 4 CHARACTER ※※※※※
課題番号が4桁ではない。(第14桁が^CRではない。)
- (6) ※※※※※ $\left\{ \begin{matrix} B \\ C \end{matrix} \right\}$ - JOB CANNOT OUTPUT ※※※※※
ジョブ・クラス(第1桁)がデマンド・プリント・サービスしているジョブ・クラスではないのでプリントすることはできない。
- (7) ※※※※※ ANNNNNNN NUMBER MISSING ※※※※※
受付番号の下3桁が数字ではない。
- (8) ※※※※※ ANNNNNNN IS NOT FOUND ※※※※※
この受付番号のジョブはありません。(返却済又は入力されていない)
- (9) ※※※※※ ANNNNNNN IS WAITING ※※※※※
この受付番号のジョブは処理済みではありません。(処理待ち)
- (10) ※※※※※ ANNNNNNN IS PRINTING NOW ※※※※※
この受付番号のジョブはプリント出力中である。
- (11) ※※※※※ ANNNNNNN KADAI UNMATCH ※※※※※
この受付番号のジョブは課題番号が一致しません。
- (12) ※※※※※ PRINT ANNNNNNN, KKKK ※※※※※
プリント出力を開始します。
- (13) ※※※※※ DEMAND PRINT SERVICE END ※※※※※
デマンド・プリント・サービスを終了します。
※(12)のメッセージが出力後プリント出力を開始しますが、プリント出力が終了するまではSTARTキーを押しても、タイプ・インは不可能です。
※ ANNNNNNNは受付番号, KKKKは課題番号下4桁。

<速報№42>

1. ACOSファイル開設申請の受付について

先にお知らせしましたACOSファイルの受付を次の要領で行います。

(1) 受付開始日

3月1日(火)から

(2) 契約リンク数

原則として1人50リンク以内としますが、特にセンターが認めた場合はこの限りではありません。(51リンク以上の場合申請理由が必要となります。)

なお、1リンクが3840Wに相当します。

(3) 開設期間

前項については4月1日から9月末日までの間、後期については10月1日から翌年3月末日までとします。

(4) 申請用紙

センター・ジョブ受付及び各連絡所(第6地区内)に用意してあります。

2. パスワード申請書の変更について

先に配布しましたパスワード申請書について次の通り変更しましたので御了承願います。

(1) パスワードの申請はACOSシステム700(システムⅡ)及びNEACシリーズ2200モデル700(システムⅠ・Ⅲ)の各システムごとに行っていただくことになりました。

先の申請書でお知らせしたシステムⅠ・Ⅲのパスワードとして、システムⅡのパスワードの上6文字を自動的に登録する方式はとりませんので、従来通り使用しない場合は申請する必要はありません。

また、システムⅡで申請されない方のパスワードはHANDAIとなります。

(2) 新パスワード申請書はセンター及び各連絡所(第6地区内)にあります。

記 入 上 の 注 意 事 項

1. 旧課題番号

年度をまたがってファイルを継続する時のみ、旧課題番号を記入してください。

2. 利用予定端末番号

利用予定端末がない場合には、空白のままにしてください。

3. LOG ON パスワード

パスワード申請書に記入されたパスワードを記入してください。

パスワード申請書を提出されていない場合には空白のままにしておいてください。

4. 新規・継続などの区分

新しくファイルを開設する時には「新規」にチェックしてください。同一契約リンク数でファイルを継続したい場合には「継続」にチェックしてください。

ファイルを継続し、契約リンク数を変更する場合には「変更」にチェックしてください。（この場合、理由欄に前の契約リンク数を必ず記入してください。）

ただし、現在使用中のリンク数より大きいリンク数に変更する場合は可能ですが、小さい場合はファイルの継続は行えませんので、前もってファイルの整理を行ってください。

5. 契約リンク数

原則として1人50リンク以内とし、センターが認めた場合は、この限りではありませんので必要なリンク数をお書き下さい。ただし、50リンクを越えて申請される方は、理由欄に必要理由をお書き下さい。なお、1リンクが3840Wに相当します。

6. 希望開設期間

前期については4月1日から9月末日までの間、後期については10月1日から翌年3月末日までの間で希望する開設期間をお書きください。

昭和 年 月 日

ACOS-ファイル利用登録申請書

大阪大学大型計算機センター長 殿

下記のとおりACOS-ファイルを申請します。

職名又は身分				氏名			印
	所在地	〒 □ □ □ □ □ □					
	所 属	大学		学部 研究所	学科		研究室 講座
	TEL	市外局番()局番()		番号()		内線()	
課題番号				旧課題番号			
利用予定 端末番号	LOG ON パスワード						
区 分	<input type="checkbox"/> 新 規		<input type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 変 更		
契 約 リンク数	リ ン ク						
希 望 開設期間	昭和 年 月 日		～ 昭和 年 月 日				
理由欄							

(注) 記載にあたっては記入上の注意事項を参照してください。

筑波大学計算センターの利用について

筑波大学計算センターでは、去る51年3月から、大型計算機システム（TOS BAC 5600/160E）が稼動しています。このシステムは、2 CPU、384 K語の主記憶、1台あたり177 MBの磁気ディスク装置11台、磁気テープ装置7台、標準入出力装置等から構成されています。また、このシステムには、リモート・バッチ処理装置9台、TSS端末装置59台が接続されており、さらに公衆通信回線によるTSSを現在5回線設置し（1200 bps 1、300 bps 3、200 bps 1）すでに、センターでテストを行っています。さらに51年9月末には、12回線に増設になりました。

このようなシステム構成のもとで、現在、「バッチ・ジョブ」「リモート・バッチジョブ」及び「TSS」のすべてが、平常業務として処理されており、51年9月1日からは、24時間運転（月～土）も開始されました。

そこで、同センターでは、とくに夜間のシステム効率を上げるために、学外からの長時間、大型ジョブを可能な限り処理することになりました。

同センターを利用するための資格や手続きは、およそ各共同利用大型計算センターと同様です。処理されたジョブに対しては、利用負担金が課されますが、原則として国立学校校費の振替えによるものが扱われます。

なお、ジョブの入出力は、原則として、利用者自身が行います。バッチジョブの入力は、MTを使用する場合等を除き、すべて利用者が9時～22時に一般端末室において行います。（MTも近く、オープン処理になります。）そのうち、CPUタイム1時間以内、主記憶128 K語以下、出力200ページ以下のジョブは、原則として9時～22時に処理され、出力も利用者自身が取りますが、前記のいずれかを越える指定があるものは、22時～翌朝9時に処理され、出力はセンター出力となり、事務室で返却されます。

TSSジョブ及びリモート・バッチ・ジョブは、運転時間中は、原則としていつでも受付られます。ただし、TSSで起動されるバッチ・ジョブやリモート・バッチ・ジョブのうち、長時間・大型ジョブは、22時～翌朝9時に処理されます。

公衆通信回線による電話番号

1200 bps	0298(57)5761
300 bps	" (") 5590
"	" (") 5591
"	" (") 5592
200 bps	" (") 5598

同センターの利用を希望される方は、とりあえず、筑波大学計算センター事務室（0298-53-2451 又は 2452）へお問合せください。

センター・ニュースの刊行時期について

大阪大学大型計算機センター・ニュースの刊行時期は、原則として2月、5月、8月、11月の予定です。